

金城学院大学 国際情報学部 国際情報学科

岩崎 公弥子 准教授

幼い頃から自然や天文に興味を持ち、
学院でのすばらしい学びの環境や先生方との出会いがきっかけで
「子どもたちが楽しく学べるデジタル教材づくり」を
日々研究していらっしゃる岩崎先生。
時と場所を選ばず、能動的な学びを促すデジタル教材やサイト作りを通して
学生たちには「いろいろな世界を知り、
自分はその中で何ができるのか考えられる人になってほしい」と
願っていらっしゃいます。



制作は相手がいて初めてゴールがある
その中で力を発揮できる人になってほしい

岩崎公弥子准教授／専門分野は情報学、博物館学、科学教育・教育工学。日本教育工学会、社会情報学会、ミュージアムマネジメント学会所属。'05年にPCカンファレンス最優秀ポスター賞、'06年に同優秀ポスター賞を受賞。研究課題は「オンラインミュージアムに関する研究」「ミュージアム資料を用いた教材の作成」「情報教育」。

学院との出会いがきっかけ 夢を形にする仕事へ

私は小さい時から自然、特に天文分野にとっても興味がありました。名古屋市科学館の天文クラブに入ったり、月に1回テーマが変わるごとに必ず見に行っていたほどです。その好きな自然や天文と今の仕事を結びつける大きなきっかけとなったのは、金城学院中学や高校、そして大学ですばらしい学びの環境や先生方と出会えたことだったと思います。金城学院では先生方は学生が何を学びたいのかを理解して、きちんと能力を伸ばしてください。私も大学ではKinjo Media NetworkやMacクラブに入り、細やかな指導を受けながら毎日夢中になってデジタル番組やコンテンツを制作してきました。その頃から「将来は子どもたちが天文や自然のすばらしさを楽しく学べるようなデジタル教材が作れたら」と思うようになりました。

大学院を卒業後は名古屋大学大学院へ進学し、デジタルコンテンツについてさらに研究。夢であった母校の教員となった今、ゼミの学生たちとともに、もうひとつの夢である子ども向けのデジタル教材の開発を行っています。科学館や水族館など博物館の展示や資料をデジタル教材化するなかで、どうしたら子どもたちに興味をもって学んでもらえるか、そんなことを日々考えながら取り組んでいます。

興味を持って学べるような デジタルツールを共同開発

現在は各博物館や他大学と共同でタブレットやアプリの開発を行っています。学芸員の方々にレクチャーを受けながら大きな教材の枠組みを自分たちで考え、システム構築は他大学の研究室と共同で制作。その一例として名古屋市科学館と共同で開発した、金環日食のタブレットを使って、ゼミの学生たちと一緒に小学校や児童館など8カ所約350人の子どもたちへレクチャーを行いました。このタブレ

ットは3次元で宇宙空間を再現、実際に自分の指で太陽や月の位置を動かしながら学べる仕組みになっています。天体の動きについて全く知らなかった子もいましたが、そのような子どもたちでもこうした教材を使い学ぶことで、宇宙に興味を持てるようになると思うのです。

現在はこの他にも名古屋港水族館のアプリを学生たちと一緒に考案しています。携帯の端末を使い、館内の生物についてクイズなどを用いながらより楽しく詳しく解説するものです。生物の生態を知ることで、もっと水族館が楽しくなることをめざして試行錯誤しながら制作しています。

また学内では「金城里山コンサベーション(KSC)」メンバーのひとりとして、大学の里山をより広く紹介するデジタルツール作りも行っています。このすばらしい大学の里山を、もっと広く学生や地域の人々、子どもたちに知ってもらいたい、そう思いながらよりわかりやすいツールを作るために、学生とともに日々頑張っています。

「誰かのために役立つもの」を 大切に考えられる人へ

私のゼミでは、3年生の前期はウェブのデザイン方法やアニメの作り方を学び、後期に入ると実際のプロジェクトに分かれて必要なスキルを修得。4年生では各プロジェクトの作



名古屋市科学館等と共同で開発した金環日食のタブレット

品を完成させます。大切なのは「誰かのために役に立つものを作る」ということ。ただ作品として仕上げるだけでは自己満足に終わってしまう。制作は相手がいて初めてゴールがあるのだということを理解するために、学生たちは実際に児童館やカフェなどさまざまな業種のサイト作りを行います。相手にヒアリングをし、問題を見つけ、それを解決するためのシステム構築を考える。サイト作りではこのプロセスが実は一番重要であり、またこの一連の流れを経験することで学生たちもウェブ制作の技術はもちろんのこと、社会で必要なコミュニケーション能力や理解力をさらに高められると思います。

学生たちにはこうしたプロジェクトの制作を通じて、いろいろな人や世界があることを知ってもらいたい。その中で自分は何ができるのかを考え、持てる能力を最大限発揮できる人になってもらいたい、そう願っています。



岩崎先生はどんな人!?

岩崎ゼミの皆さんに、岩崎先生について伺いました。「ほんわかとして優しい」「おっとりしている」などほとんどの人が「優しい先生」と口を揃えました。また「授業がとてもわかりやすく、また頼りがいがある」「こちらが助けを求めるときちゃんと応えてくれる」「ひとりひとりをよく見ている」などの声も。学生の信頼も厚く、とても頼もしいお人柄も伺えました。